

Trimble Business Center Ver.5.30 アップデート機能一覧

分類	機能	改良内容
システム	全般	不適切な日本語を改善しました。
インポート	LandXML(3次元設計データ)インポート	ダブル断面をずらして登録する際の較差を0.001から0.0001に変更しました。
エクスポート	LandXML(3次元設計データ)エクスポート	ダブル断面と認識する判定の較差を0.00101から0.00011に変更し、同一コリドープレート名を持つ時のみダブル断面と認識するように変更しました。
エクスポート	SIMAエクスポート	縦断現況の出力で中間点や追加の測点が出来ない件を改善しました。
エクスポート	シート出力	DXF/DWGエクスポートの設定で、【2Dで出力】が「はい」になっていると、断面図上の図形が2Dで出力され、レイアウト内で図形が正しく表示されない件を改善しました。
エクスポート	TOWISE連携	NO杭の現況縦断の高さをTOWISEに連携できない件を改善しました。
エクスポート	TOWISE連携	現況面とポイントクラウドをTOWISEへ連携できる機能を追加しました。
エクスポート	TOWISE連携	レイヤのフィルタをCADデータにのみ適用するように変更して分かりやすくしました。
コマンド	保存された横断表示を作成	保存された断面表示を0.0002m間隔で登録できるようになりました。
コマンド	地形モデルの最適化	最適化率が1%未満の時に小数以下を表示するように改善しました。
コマンド	地形モデルの最適化	レポートの作成の有無を選択できる機能を追加しました。レポートを出力しないことでレポートを出力せずに面の平坦化のみをおこなうことができます。
コマンド	地形モデルの平坦化	面から飛び出した頂点を除去して、面を平坦化するコマンドを新しく追加しました。
コマンド	面の交差ラインの作成	面と面の交差している線をラインストリングとして作成するコマンドを新しく追加しました。
コマンド	測地座標系への変換 精度管理表	水平方向の許容差と垂直方向の許容差を別々に指定する機能を追加しました。
コマンド	地上レーザスキャナ・標定点配置図	出力対象として基準点や標定点、器械点に選択されていない点が大きく表示される件を改善しました。
コマンド	出来形合否判定総括表[舗装]	最大平均標高許容差、最小平均標高許容差、最大値許容差、最小値許容差において、値を変更しても変更が反映されない件を改善しました。
コマンド	出来形合否判定総括表 出来形合否判定総括表[舗装]	棄却可能な棄却点の点数が0.3%未満から0.3%以内に変更された件に対応しました。

Trimble Business Center Ver.5.30 アップデート機能一覧

コマンド	精度確認試験結果報告書(舗装)	TS測定座標からターゲットを抽出して抽出できなかった際に、TLSIによる測定座標に付加されるメッセージが、TSIによる測定座標に付加されていた件を改善しました。
マクロ	直交線作図	作成される直交線に高さを持たせる機能を追加しました。
マクロ	直交線作図	線に沿って直交線を作成する際に、セグメントの端点に直交線を作成する機能を追加しました。
コマンド	直交線作図	線に沿って直交線を作成する際に、作成する範囲を指定する機能を追加しました。

2020年4月  
 (株)ニコン・トリンプル